



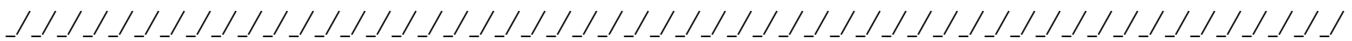
2005/8/15

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第 8 号



◆ INDEX



- * TOPICS
- * 今月の Key Word【石綿と喫煙】
- * 労働衛生事例【熱中症による死亡例】
- * 新着情報
- * 研修・セミナーのご案内(8/15～10/15)

◆ TOPICS

◆石綿ばく露作業に係る労災認定事業場一覧表の公表について/厚生労働省◆

厚生労働省では、石綿による健康障害について国民の不安が高まっている現状を踏まえ、石綿ばく露作業による肺がん又は中皮腫の労災認定を受けた労働者が所属していた事業場の名称等の情報を公表した。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2005/07/h0729-2.html>

関連サイト

石綿による健康障害に係る相談等の状況について

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2005/08/h0805-1.html>

アスベスト(石綿)についてQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/07/tp0729-1.html>

◆ 今月の Key Word【石綿と喫煙】

「石綿」と「喫煙」との関係

石綿と喫煙の相乗作用の結果、著しく肺がんの死亡を高めることを Hammond(1979)らが示しました。北アメリカの断熱作業労働者17,800人の追跡調査を行い、1966年に調べた喫煙の有無別に肺がん死亡率を調べました。対照としてアメリカがん協会の行った喫煙経験別の肺がん死亡率を用いて調べた結果、以下のような内容が報告されております。(肺がん死亡率の対10万人当たり)

	石綿ばく露なしの者	石綿ばく露ありの者
非喫煙	11.3	58.4
喫煙者	122.6	601.6

その後に発表されたコホート調査でも、石綿ばく露と喫煙の相乗作用を示唆する成績が報告されています。

「職業性石綿ばく露と石綿関連疾患」—基礎知識と労災補償—
三信図書

◆ 労働衛生事例

労働衛生事例（熱中症による死亡例 —平成16年8月—）

《発生状況》

【建設業 気温 29℃ 相対湿度 53% 50才代】

造成工事現場において、被災者は午前8時頃から、土木作業等に従事していた。午後1時頃から、被災者はトラックの荷台の上で生コンをバケツに入れ当該バケツを同僚に渡す作業に従事していたが、午後2時20分頃、荷台の上でバケツに手を付いた姿勢のまま動かなくなった被災者に気付いた同僚が声を掛けるも返答がなかった。被災者のシャツを脱がし、保冷剤で冷やす等の応急措置が施された後、病院へ搬送されたが、20日後に死亡した。

《主な発生原因》

- ① 塩分の不備
- ② 健康状態の把握が不十分
- ③ 熱中症予防の教育が不十分

◆ 新着情報

☆ 新着雑誌 ☆

■働く人の安全と健康／8月号

特集◎OSHMS 定着のポイントは？

■安全衛生のひろば／8月号

特集◎知っておこう！安全衛生最新情報

～労働安全衛生法の改正案などを中心に～

■労働安全衛生広報／No. 872

NEWS◎石綿被害で緊急立ち入り調査

■へるすあっぷ21／No. 250

特集◎ウエストが気になりだしたら要注意！

メタボリックシンドローム

■安全スタッフ No.1999

特集◎粉じんマスクの漏れに注意

